

茨城県内医療福祉関係者各位

筑波大学附属病院リハビリテーション部
糖尿病予防研究会
代表 鈴木 康裕 (専門理学療法士)
(公印省略)

筑波大学附属病院リハビリテーション部糖尿病予防研究会

(つくば糖尿病予防セラピスト研究会) 発足のご挨拶

謹啓 ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

我が国では糖尿病を強く疑われる成人が約 1200 万人、糖尿病予備群は 2000 万人に上るとされており、現在、増加の一途を辿っております。糖尿病が進行すると 3 大合併症や心疾患などのリスクが増大し、さらなる医療費の圧迫を来す可能性が高くなると予想されます。このような現状で糖尿病の発症予防や進行防止は喫緊の課題であると言えます。

従来の糖尿病患者に対するリハビリテーションは、運動療法を中心とした介入が主であります。今後は栄養学的観点や心理社会的側面を踏まえた包括的アプローチも重要になります。また糖尿病が主疾患でなくとも他疾患に糖尿病を合併する場合も少なくなく、そのため医療および福祉従事者の基礎知識として、糖尿病の病態理解や知識が不可欠と考えております。さらに、予防医学として介入していくことがリハビリテーションとして重要な位置づけになると考えております。

しかしながら糖尿病に対して包括的・予防的なりハビリテーションの介入が不十分な現状があります。このような現状を踏まえ、筑波大学附属病院リハビリテーション部として、この課題に立ち向かうべく有志での研究会を立ち上げ、研究・調査および教育(若手育成)、日本糖尿病療養指導士の養成のための勉強会などを企画していくことにしました。このような当研究会の活動趣旨および内容にご賛同いただける方々がいらっしゃれば、ぜひ我々研究会に参加していただき共に研鑽していきましょう。

1ヶ月に1回、勉強会を企画しております。入会・参加希望の方はご連絡頂ければ幸いです。

詳しくは、Facebook (URL : <https://www.facebook.com/2014TSUKUBADM>) をご覧ください。

入会金・年会費：なし (但し、場合により資料代として実費をいただく事があります。)

入会資格：糖尿病の予防・ケアに興味のある医療・福祉職の方など

連絡先：筑波大学附属病院リハビリテーション部 理学療法士 鈴木康裕 (代表兼事務局長)

Tel:029-853-1131 (直通 90590) Mail: yasuzuki@times.hosp.tsukuba.ac.jp



グルッシー

(筑波大学附属病院糖尿病
運動療法イメージキャラクター)

2018年4月1日

研究会役員		
代表兼事務局長	鈴木康裕	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
広報	新井良輔	牛久愛和総合病院 リハビリテーション部 理学療法士
会計	椿拓海	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
特別顧問	出口憲市	徳島県鳴門病院 リハビリテーション課 課長 理学療法士
	石黒友康	東都医療大学 理学療法学科設置準備室 理学療法士
顧問	岩部博子	筑波大学附属病院 管理栄養室 室長 管理栄養士
	石川公久	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 副部長 理学療法士
	上野友之	筑波大学附属病院 医学医療系リハビリテーション科 病院講師 リハビリテーション部 副部長 医師
	羽田康司	筑波大学附属病院 医学医療系リハビリテーション科 准教授 リハビリテーション部 部長 医師